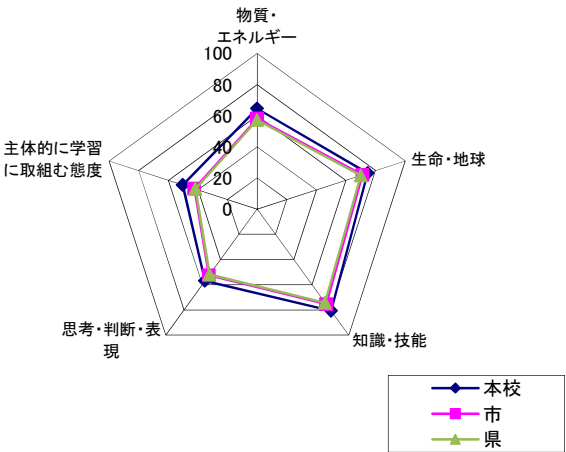


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	64.5	58.1	57.2
	生命・地球	74.6	71.1	70.0
観点	知識・技能	80.8	75.5	74.4
	思考・判断・表現	56.9	52.7	51.9
	主体的に学習に取り組む態度	50.3	42.4	41.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○本領域の平均正答率は64.5%で、県の正答率を7.3ポイント上回った。 ○「湯気は液体であることを理解している」の平均正答率は33.3%で、県の正答率を18.2ポイント上回った。 ○「金属のふたを湯につけると開けやすくなる理由について、温度による金属の体積の変化をもとに記述できる」の平均正答率は70.5%で、県の正答率を13.1ポイント上回った。 ●「気泡シートが、閉じ込められた空気のような性質を利用しているかを説明できる」の平均正答率は58.1%で、県の正答率を0.1ポイント下回った。 ●「温度による物の体積の変わり方を利用したものを指摘できる」の平均正答率は45.7%で、県の正答率を1.4ポイント下回った。	・ほぼ全ての設問で県の正答率を上回り、学習内容を理解していることが分かる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので、今後も継続して基礎・基本を押さえながら、さらに発展的な問題についても指導していく。 ・授業で学習したことで、日常生活の事象とを結び付けて考えさせたり、体験的な学習を充実させたりするなどして、興味関心を高めるようにする。 ・実験結果から分かったことを考える時間を十分に確保し、自分の言葉でノートに書いたり、グループの友達と話し合ったりすることで、科学的思考力を高め、理解を深められるようにする。
生命・地球	○本領域の平均正答率は74.6%で、県の正答率を4.6ポイント上回った。 ○「気温をはかる条件を理解している」の平均正答率は95.2%で、県の正答率を21.7ポイント上回った。 ○「腕を曲げた時の筋肉のようすを理解している」の平均正答率は77.1%で、県の正答率を11.7ポイント上回った。 ●「記録温度計の記録から、天気の変化を推測できる」の平均正答率は30.5%で、県の正答率を0.9ポイント下回った。 ●「日なたに置いた水の量が減る理由を、蒸発によるものと理解している」の平均正答率は85.7%で、県の正答率を1.4ポイント下回った。	・ほぼ全ての設問で県の正答率を上回り、学習内容を理解していることが分かる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので、今後も継続して基礎・基本を押さえながら、さらに発展的な問題についても指導していく。 ・自然の事物や事象についての問題を投げ掛けたり、疑問をもたせたりするなどして、興味関心を高めるようにする。 ・学習したことを基に根拠のある仮説や予想を立てたり、考えを話し合わせたりすることで、発展的な問題にも取り組みめるように指導していく。